

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月31日

事業所名 高山市立いきいき広場
おひさま教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	4	・活動によっては室内のスペースが狭いため、遊具の配置や活動内容を工夫している。	・引き続き、安全面に留意しながら、十分に身体を動かすことができるようにしていく。
	② 職員の配置数は適切である	4	0	・二人体制で丁寧な関わりができるようにしている。	・研修等に十分対応できる人員配置が望ましい。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	・個々の特性に合わせた環境設定と、動線を工夫している。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	・毎日、清掃整頓を行い、清潔な生活空間を整えている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	・療育後に職員間で振り返りを行い、次の取り組みを検討している。	・目標設定に従って、定期的に評価及び反省を行っていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	・毎年行い、業務改善に繋げている。	・結果を踏まえて、業務改善に繋げていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	・自己評価・保護者向け評価を実施し、集計したものを市のホームページに掲載している。	・ホームページに掲載することを保護者に周知する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	・第三者により外部評価は実施していない。	・第三者による外部評価について検討を進めていく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	・市や県が実施する研修に積極的に参加し資質向上に努めている。	・日々の業務との調整を行い参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	・定期的に面談にてアセスメントを行い、保護者ニーズや課題に沿った支援計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	4		・現在ツールを使用していないため、今後検討していく。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	・アセスメントを丁寧に行い、ニーズを反映した支援内容を作成している。	・保護者の方にも分かりやすい支援計画となるよう、書き方や説明に配慮していく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	・児童発達支援計画をもとに支援方法を組み立てている。 ・子どもの状況と計画を照らし合わせ実践している。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	・職員間で話し合いを行いながら活動プログラムを立案している。	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	・子どもの意欲を引き出せるよう、内容や環境設定を工夫している。 ・一人ひとりの子どもに合わせた活動プログラム、支援方法を試行錯誤している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	4	0	・個々の状況に応じて計画を作成している。	・引き続き子どもの状況に合わせて、必要な支援を見極めていく。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	・療育前には支援の内容や、役割分担を確認している。 ・打ち合わせなどを十分に行える勤務時間の確保に努めている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	・療育後に職員間で振り返りを行い記録している。話し合うことでお互いの気づきや見立ての深まりに繋がっている。 ・日誌には課題も記録する事で、次の療育支援に繋げている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	・療育日誌に記録し、次の支援に繋がるようにしている。	・支援の見直しがしやすいよう、ポイントを押さえた記入の仕方に努めていく。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	・児童発達管理責任者と、各事業所の担当者と必要性を判断している。	・個別記録、保護者への活動記録を読み返し、モニタリングに反映していく。
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	・児童発達管理責任者が参画している。	・必要な場合は各事業所担当者も同席する。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・保健師、子ども発達支援センターと連携した取り組みを行っている。	・日ごろから情報共有を行い連携をとっていく。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・今年度は対象になる子どもがいなかった。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・今年度は対象になる子どもがいなかった。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・園訪問や引継ぎシートにて情報共有を行っている。	
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・引継ぎシート、引継ぎ会にて情報共有を行っている。	・引継ぎシートやサポートブックを活用し、途切れない支援の引継ぎを図っていく。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	・子ども発達支援センターが実施する療育研修に参加し、他の事業所との連携に努めている。	・内容を検討しながら、研修を続けていく。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				・今年度は実施しておらず、内容について検討していく。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	・児童発達支援管理責任者が出席	
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	・活動記録を通して、保護者と共有している。必要に応じて面談を行っている。	
㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	・子ども発達支援センター主催のペアレントトレーニングの案内を行った。	・参加した保護者の方からは良い感想を頂いている。引き続き支援を行っていく。	
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	・契約時、児童発達管理責任者から説明している。	・書類でも渡すことで、理解に繋げている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	・保護者に分かりやすく説明し、個々に応じた支援内容を具体的に知らせている。	・同意が得られた支援計画については、サポートブックに綴るようによりに依頼し、保護者に認識を高めてもらえるようにしている。
	③④ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	・必要に応じて、その都度メールや電話相談、面談を行っている。	・定期的な保護者支援を図るとともに、突発的な保護者の要望にも迅速に対応していく。
	③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		・今後、人数や開催方法などを検討していく。
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	・その都度、相談に応じている。 ・迅速に対応し、記録をとっている。	・引き続き迅速な対応に努めていきたい。
	③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	・令和5年度より、メール配信で案内している。	・ニーズに合った発信の形を検討していく。
	③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	・個人情報に関わる書類、パソコンは鍵のかかる棚に片づける。	・個人情報管理の強化体制を更に図る。
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	・個別に面談、相談を行う。	・定期的に行う以外にも、個々の状況に応じて連絡を取り合い、対応していく。
④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		・今年度は開催しておらず、内容については検討していく。	
非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	・マニュアルを作成し、職員間で周知している。	・定期的に職員間で内容について確認していく。
	④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	・併設園と合同で、毎月避難訓練を実施している。	・毎月避難訓練記録を記入し、反省事項について改善するようにしている。
	④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	・契約時に聞き取りを実施している。	・引き続き実施する。
	④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	・食事をとる場面はないが、契約時に確認している。	・引き続き、契約時の聞き取りで把握していく。
	④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	・ヒヤリハット事例については、職員間で共有し、すぐに環境設定を見直すようにしている。	・引き続き、迅速な対応をしていく。
④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	・職員全員が定期的に虐待チェックを行っている。	・虐待についての研修参加や、引き続きチェックを行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑭ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4		・ これまでに身体拘束を行う事例はないが、やむを得ず行う場合の判断基準及び対応について組織として決定していく。